

『流通研究』 投稿規定

日本商業学会『流通研究』編集委員会

原稿の公募

『流通研究』への投稿論文原稿は随時受け付けています。投稿いただいた論文は、別掲の「編集方針」に従って審査の上、掲載の可否が決定されます。

投稿の資格

投稿者（複数名の場合には代表者*）は、日本商業学会の会員（購読会員・賛助会員・国際交流会員は除く）に限ります。ただし、非会員の方でも、入会申し込みを行い、部会において仮承認を得ることができれば投稿できます。

投稿論文は、他誌に掲載されておらず、かつ投稿中でないものを前提とします。ただし、掲載済の論文がワーキング・ペーパーおよび、それとみなされる場合には審査の対象とします。ただし、ワーキングペーパーであっても、査読論文として掲載されている場合には審査の対象外とします。また、学会発表の際に、アブストラクト（日本語：450字以内、英語：200 words 以内を目安とします）としてプロシーディングスに掲載されているものは、査読されている場合でも審査の対象としますが、フルペーパーとして掲載されている場合は審査の対象外とします。査読付きのプロシーディングスに掲載されているものでも、大幅に改定され、研究が大きく発展している場合は審査の対象とします。アブストラクト、フルペーパーを問わず、査読付きプロシーディングスに掲載された研究を『流通研究』へ投稿する際は、投稿論文と合わせて当該のプロシーディングス原稿も必ず提出してください。編集委員会で確認し、上記の基準を満たしていないと判断された論文は、審査の対象外とします。

・ワーキングペーパーとは、学術誌に投稿する前に論文形式で発表された中間的な研究成果物であり、所属機関内外から幅広くコメントをもらうことで内容を改変するための出版物です。なお、所属機関によって、ディスカッションペーパー、リサーチペーパーと呼ぶこともあります。それらもこれに該当します。

- ・学会発表には、日本商業学会以外の学会も含まれます。
- ・論文、ワーキングペーパー、学会発表の使用言語は、日本語・英語など言語を問いません。
- ・上記に含まれない個別のケースについては、編集委員会で判断します。

*投稿の代表者は、筆頭著者もしくは責任著者を指します。

投稿原稿の様式

- ・原稿全体で、2万字程度の長さとして下さい（注、参考文献を除く）。
- ・文字数確認は、ワード作成画面の、「文字カウント～文字数（スペースを含めない）」を利用して下さい。
- ・注と参考文献は総文字数に含みません。図表は1つにつき700文字、数式は1つにつき60文字と換算します。
- ・図表は本文とは別に記載し、図表の番号とタイトルをつけて下さい。
- ・注を必要とする場合は、脚注ではなく必ず「後注」としてまとめて表記して下さい。なお、注には連続番号 1), 2)・・・をつけて下さい。また、注釈は必要最小限にとどめてください。
- ・節、小見出し等は、1, 1.1, 1.1.1, のように統一して下さい。
- ・審査に際しては、ブラインドレビューを行いますので、本文中には、投稿者の氏名・所属を示すような記述をしないように注意して下さい。

投稿の方法

- ・投稿は、Web 投稿システム (Editorial Manager) を利用して行ってください。学会 Web サイト (<http://jsmd.jp>) の「学会誌」のページ上に、Web 投稿システムと著者向けマニュアルへのリンクがあります。
- ・Web 投稿システムの手順にしたがって、「執筆者名/所属名/執筆者連絡先」の登録をしていただき、「論文題目」および「要約 (アブストラクト)」、「キーワード」をそれぞれ登録し、原稿ファイルをアップロードしてください。
- ・「論文題名/執筆者名/所属」については、英文表記も必ず登録してください。また、「執筆者連絡先 (住所/E-mail アドレス)」を必ず登録して下さい。
- ・原稿本文は、MS ワード形式 (Version 2003 以上) のファイルで投稿してください。別形式での投稿を希望される場合は学会事務局にご相談ください。
- ・図表は別ファイルに分けてアップロードしてください (PDF 可)。
- ・投稿された論文の文字数などの要件を編集委員会で確認後、要件に合っている場合には、審査対象として受理の旨、E-mail でご連絡いたします。

参考文献の記載方法

- ・参考文献は APA スタイルに従い、以下の例の様式で記載してください。
- ・日本語の文献については、APA スタイルにおける斜体に相当する部分 (書籍名、雑誌名) を『 』で括ってください。日本語の著者名の姓と名の間にはスペースは入れないでください。日本語文献で著者が複数の場合には、著者名を中黒 (・) でつないでください。
- ・オンラインで公開されている文献で doi が付けられているものについては、doi を記してください。また、オンライン上の文献で doi が記されていないものについては、Retrieved from <http://〜略〜> のように記してください。

例：

Aaker, D. A. , & Keller, K. L. (1990). Consumer Evaluations of Brand Extensions. *Journal of Marketing*, 54(1), 27-41.

Aaker, D.A. (1996). *Building Strong Brands*. New York, NY : The Free Press. (陶山計介・小林哲・梅本春夫・石垣智徳 (訳) (1997). 『ブランド優位の戦略：顧客を創造する BI の開発と実践』, ダイアモンド社.)

江尻弘 (2003). 『百貨店返品制の研究』. 中央経済社.

Hamfi, A.G. (1981). The Funny Nature of Dogs. *E-journal of Applied Psychology*, 2 (2), 38-48. Retrieved from <http://ojs.lib.swin.edu.au/index.php/fdo>

李東俊・成生達彦 (2017). 我が国家電メーカーのチャンネル政策と系列店の役割. 『流通研究』, 20 (2), 37-48. doi: 10.5844/jsmd.20.2_37

- ・著者が8名以上の場合は、第1から第6著者まで書き、第7著者以後は“...”で省略表記し、最後の著者名を記述してください (下記参照)。

Takahashi, H., Takeno, H., Camerer, C.F., Ideno, T., Okubo, S., Matsui, H., . . .Suhara, T. (2012).

参考文献の掲載順序

- ・参考文献は、日本語文献と外国語文献を分けず、著者名 (姓) のアルファベット順で並べてください。

- ・第1著者が同一で、第2著者が異なるときは、刊行年ではなく第2著者の姓のアルファベット順にそれらを並べてください(下記参照)。

Kotler, P. (1996).

Kotler, P., Kartajaya, H., & Setiawan, I. (2010).

Kotler, P., & Lee, N. (2006).

- ・同一著者の、あるいは同一配列の共著の文献がいくつかある場合には、早い刊行年のものから順に並べてください。同一年に刊行された文献がいくつかある、あるいは、本文への引用の際の省略表記が同一となる場合、刊行年のあとに、アルファベット小文字 a, b…を付して区別してください(下記参照)。

Asseraf, Y., & Shoham, A. (2016a).

Asseraf, Y., & Shoham, A. (2016b).

本文中における文献の引用方法

- ・本文中で文献を引用する場合も、APA スタイルに従い、田村 (1996), Kotler (1996, p.216) というように記してください。
- ・引用する文献が複数著者による場合には、Aaker and Keller (1990) のように and を使ってください。また、本文中で括弧を使って複数著者の文献を引用する場合には、(Aaker & Keller, 1990) のように & を使用してください。
- ・日本語の文献で複数著者がいる場合には、鈴木・佐藤 (1990), (鈴木・佐藤, 1990) のように、中黒 (・) を使ってください。
- ・著者が3～5名の場合には、初出の際には全著者名を書いてください。2度目以降は、英語文献の場合には、Kotler et al. (2010), 日本語文献の場合には、吉田他 (2010) のように、“et al.” または「他」を使って記述してください。
- ・著者が6名以上の場合には、初出から、“et al.” または「他」を使って記述してください。

参考文献の記載および本文中の引用に関するその他の細かい様式については、APA スタイルに従ってください。

著作権の取扱い

掲載が決定した論文の著作権に関し、著者は当該論文の複製及び公衆送信を日本商業学会に対して許諾したものとみなします。日本商業学会が複製及び公衆送信を第三者に委託した場合も同様とします。ただし、この許諾は、『流通研究』の刊行の目的に限定するものであり、著作権は著者に帰属し、学会は著者の権利を侵すことがないように留意いたします。

以 上

2019年10月30日 改定